

## 若い世代の起業志向



インディゴブルー社長  
柴田 励司氏

卒。マーク・ヒューマン・リソース・コンサルティング(現マーク・ジャパン)社長などを経て、2008年カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)の最高執行責任者(COO)に就任。10年6月から現職。

「起業」を置いているのは頼もし。日本においても優秀な学生の起業志向が米国並みに強くなることを望みたい。それが日本経済の活性化につながる。

起業するための修業先を考えるなら、大企業よりも中堅・ベンチャー企業だ。企業の中の優秀な社員の多くは後者である。そこでは私がかつて社長を務めたあるベンチャー経営者との話だ。「合理的にすべきではないか。」といふこと。

私がかつて社長を務めたあるベンチャー経営者との話だ。「合理的にすべきではないか。」といふこと。

## 大学に支援プログラムを

昨年末、就職情報サービスのディスコが東京都内に開設した「神楽坂ヒューマンキャピタルスタジオ」を訪問した。ちょうど開催していた「キャリアフォーラムスピードオファー」というイベントを見学させてもらった。そこに参加している学生たちは今春入社を指す学生たち。すでに2015年春採用に向けた就職活動が始まっている。参加している学生たちは周回遡れということになる。

出展している企業は主として中堅・ベンチャー企業。採用担当者と学生が密度の高い面談をして相互に納得

したら、その場で内定を出すというまさにスピード採用の場である。参加している学生の中には、いまだに内定を得ていない人から、大企業からの内定を得ながら納得がいく就職先を探してチャレンジし続けている

人もいるようだ。

不安定だが、毎日が開拓の連続である。自分で考え、自分でアウトプットするに、は絶好の場である。資金繰りの不安もよい経験になつていて。扱うビジネスサイ

「やっぱ起業したい。」だとすると大企業はないよ。自分でもアットブリットするに、パフォーマンスを継続的に上げた人間が昇格・昇進していく。そういう組織力はないと、

「やつは起業したい。」だとすると大企業はないよ。自分でもアットブリットするに、パフォーマンスを継続的に上げた人間が昇格・昇進していく。そういう組織力はないと、

「やつは起業したい。」だとすると大企業はないよ。自分でもアットブリットするに、パフォーマンスを継続的に上げた人間が昇格・昇進していく。そういう組織力はないと、